

令和 7 年企画展

「斎藤夫妻の旅物語」

～ともに旅したトランクたち～



斎藤實は海軍軍人として軍艦で各地を巡航し、後に朝鮮総督を拝命した際には、下関港・釜山港間の連絡船を利用して朝鮮を往来したほか、朝鮮半島内を隈なく巡視した記録が残されています。

また、昭和2年、實はスイス・ジュネーブで開催された海軍軍縮会議に日本全権として出席するため渡欧します。当時の移動は片道約 50 日間の船旅で、實は春子夫人を伴い東京から神戸まで陸路を列車で移動し、神戸で日本郵船会社の貨客船に乗船。途中、九州の門司港に寄港し日本を旅立ちました。

さらに、総理大臣在任中も行幸への随行や視察などで全国各地を訪問しています。

飛行機などの移動手段がまだなかった時代、長距離の移動は主に列車と船による長旅で、その際に實らとともに旅したのが多くのトランクたちです。

当館には、夫妻が使用した 19 個のトランクが収蔵されています。どのトランクも長旅に耐えるような頑丈な作りとなっていますが、使用目的や旅程などに応じて形や大きさがそれぞれ異なっています。また、誰のトランクか一目でわかるように『 M・H・S 』（實・春子・斎藤）、『 M・S 』（實・斎藤）と二人のイニシャルが記されているものもあります。

乗船する船舶名や停泊地、宿泊先のホテルのステッカーなど、トランクに貼られているシールからは、当時の旅の様子を窺い知ることができます。

開催期間／令和7年2月 26 日(水)～令和7年6月1日(日)

奥州市立斎藤實記念館

初めに、「ジュネーブ海軍軍縮会議」出席のため、スイスへ向かう欧州渡航についてご紹介します。實にとっては最後の、そして春子にとっては最初で最後の欧州への旅となりました。

～ジュネーブ海軍軍縮会議～

昭和2(1927)年6月20日から8月4日にかけてスイスのジュネーブで開催された国際軍縮会議。アメリカ、イギリス、日本の代表が参加し補助艦（巡洋船や潜水艦等）の制限に関する討議がされたが、アメリカとイギリスの意見が対立。日本全権として出席した實は会議の成功のため両国の調整役となり、妥協案を提示し続けた。会議は合意に至らず決裂に終わるが、国際協調を重視する實の外交手腕は高く評価された。



③「齋藤全権一行」



③「会議の様子」

④夫妻が欧州渡航時に使用したトランク→

鈴木会社（水交社*特約店）製。トランクには鍵がついており、持ち手の下に夫妻のイニシャルが記されている。トランクに貼られているステッカー「N.Y.K.LINE」は日本郵船会社の略称。他に日本国旗やパリのホテル「HOTEL Majestic」が貼られている。欧州以外に「朝鮮大邱 唯家旅館」、「花巻温泉 松雲閣」や「別府温泉 日名子旅館」などもあり、朝鮮や日本国内の移動の際にも使用されていたことがわかる。

*水交社…戦前に海軍将校の親睦・研究のために創設された団体



←トランクの上部に記されている夫妻のイニシャル「M・H・S」
（實・春子・齋藤）

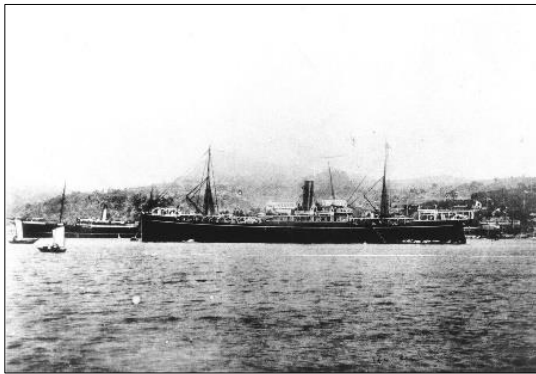
「トランクに貼られているステッカー（一部）」





「日本郵船会社 航路図（メニューカード裏面より）」

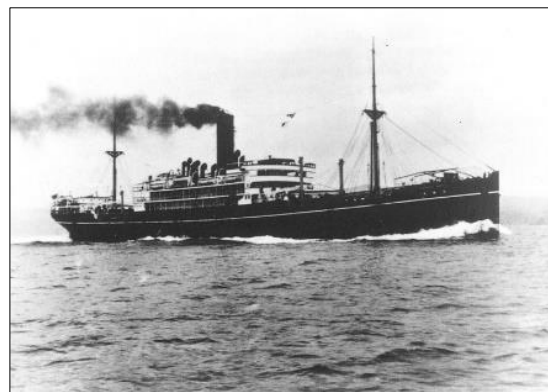
ジュネーブまでの欧州航路で利用したのが、日本郵船会社（現在の日本郵船株式会社）の「阿波丸」と「箱根丸」です。日本郵船会社の客室サービスは国際的にも質の高さに定評があり、チャップリンなど著名人も利用しました。当時の航路図と行程表を紹介します。



⑥「阿波丸」六、三〇九トン
定員…三三八名
提供「三菱重工業（株）」

<往路>

	月	日	場 所
陸路	4	22	東京出発
		25	神戸で乗船
		26	門司着、翌日出港
阿波丸	5	5	サイゴン繫留 上陸
		9	サイゴン 出港
		12	シンガポール 入港
		13	シンガポール 出港
		18	セイロン島コロombo入港
		20	コロombo 出港
		28	紅海に入る
		2	スエズ繫留、カイロ見学後 ポートサイドで乗船
陸路	6	8	イタリア・ジェノバ着 下船
		12	パリ・ベルサイユ
		17	ジュネーブ到着



⑪「箱根丸」一〇、四三二トン
定員…三〇七名
提供「三菱重工業（株）」

<復路>

	月	日	場 所
陸路	8	6	ジュネーブ出発
		8	パリ
		10	ロンドン
		15	ミラノ
		19	ローマ
		21	ポンペイ
箱根丸	8	22	ナポリ着 乗船 夕方出港
		24	クレタ島通過
		26	スエズ運河に入る
		4	夜、船客のコンサート
	9	5	夜、船員演芸会
		6	コロomboに碇泊
		12	シンガポール 入港
		13	シンガポール 出港
		18	香港 入港
		19	香港 出港
		22	上海 入港
		23	上海 出港
		25	下関海峡に入る
		26	神戸着 下船
陸路		27	東京到着



③阿波丸にて使用。松屋百貨店製。「M・S」(實・斎藤)のイニシャル入り。「N.Y.K.LINE」(日本郵船会社)のステッカーに「AWAMARU」の記入あり。縦56×横107×高38(cm)と大型。



↑ステッカー



①阿波丸にて使用。左のトランクと同じような作りになっているが、こちらは鈴木会社製でサイズも縦49×横91×高34(cm)と中型である。同様のタイプを2個所蔵。「M・H・S」(實・春子・斎藤)のイニシャル入り。



↑花柄の内装
製造元のシール
有り



⑦パリ製(タグ有り)。パリのホテル「HOTEL D'ENA」のステッカーあり。



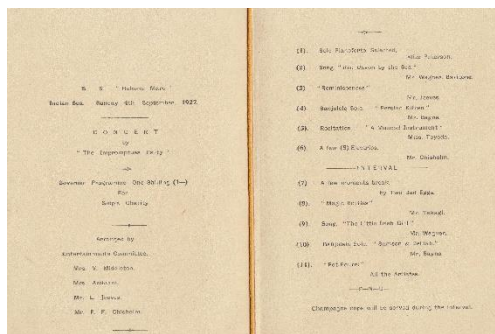
↑ペイズリー柄
の内装



⑦ジュネーブ製(タグ有り)。「日章旗」と「N.Y.K.LINE」(日本郵船会社)のステッカーあり。横と上に持ち手がついている。



⑨「A MIRAL SAITO HAKONE-MARU MARSEILLE」(海軍大将斎藤 箱根丸 マルセイユ)と記載。斎藤一行は8月22日にナポリから乗船しているが、箱根丸はロンドンを13日に出発し20日にマルセイユを経由している。このトランクはその時積み込まれたことがわかる。ロンドンやパリなどで購入した土産品などを入れたのではないかと楽しい想像が膨らむトランクである。

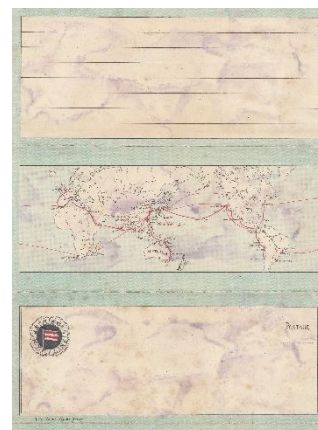


②歌川広重の錦絵表紙。箱根丸でのコンサートプログラム。



コンサートに出演したメンバーの集合写真(楽器の演奏や歌、マジックなどの内容に合わせた衣装を着用している)

日本郵船会社の貨客船で提供される食事には定評があり、特に洋食は帝国ホテルに肩を並べるほどでした。船内食の献立はカードに印刷されており、斎藤夫妻はそれを持ち帰っています。残されているカードは阿波丸・箱根丸合わせて32点。うち1点が朝食で、他は夕食のカードです。鮮やかな色彩の日本の風物や伝統芸能など12種類の絵柄で彩られた専用の用紙にメニューが印刷されています。食事はフランス料理のフルコースが基本ですが、日本食も提供され献立表は手書きされています。洋食メニューには時々“EXTRA”（特別メニュー）としてお雑煮や刺身、實の好物である素麺などの日本食も一品として提供されており、心遣いを感じます。メニューカードは縦19.3×横26（cm）の大きさを郵便書簡としても利用できるように、宛名欄が表側、私信欄が内側にくる三つ折りの袋綴じの仕様になっています。

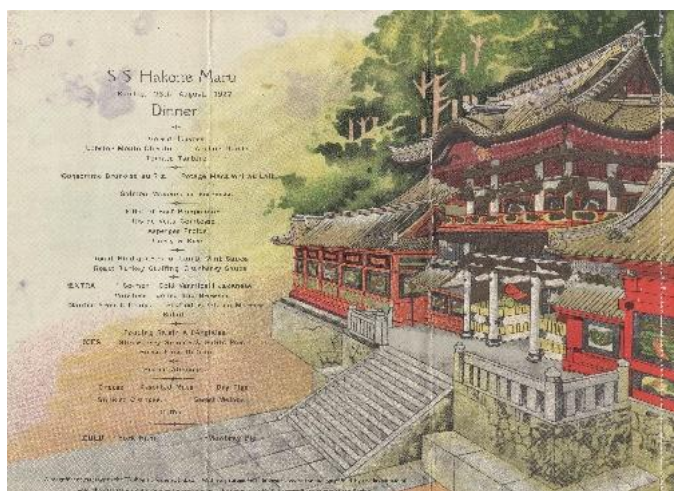


「メニューカード裏面」

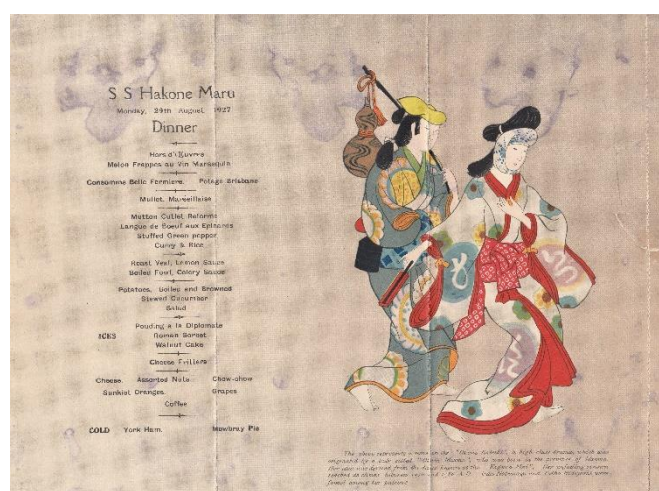
五月拾八日 夕食献立	
椀盛	玉豆腐 焼きのり 吉野汁
絞生姜	
長皿	薩摩揚げ 蒲鉾 紅葉卸
小皿	面取東瓜 豚ソボ口飴
菱井	胡瓜 鯛之花 三盃酢
太井	ちらし寿司
椎茸	筍 牛蒡 干瓜 青豆
蒲鉾	錦糸玉子 魚ソボ口
紅生姜	
御飯	
香之物	沢庵 味噌汁
胡瓜浅漬	



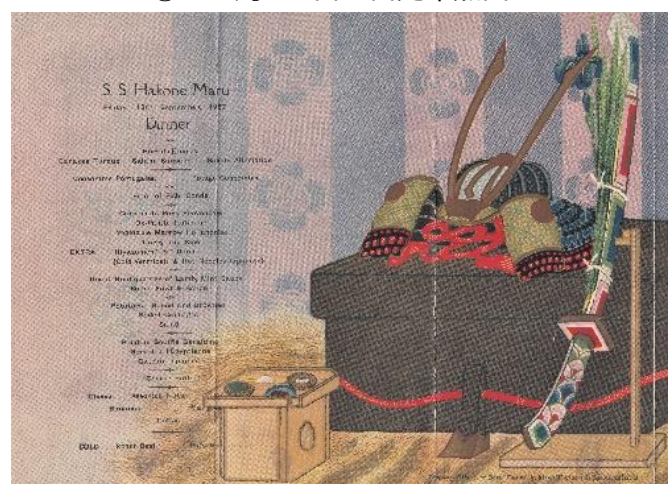
↑㊟「5月18日 阿波丸での日本食献立表」



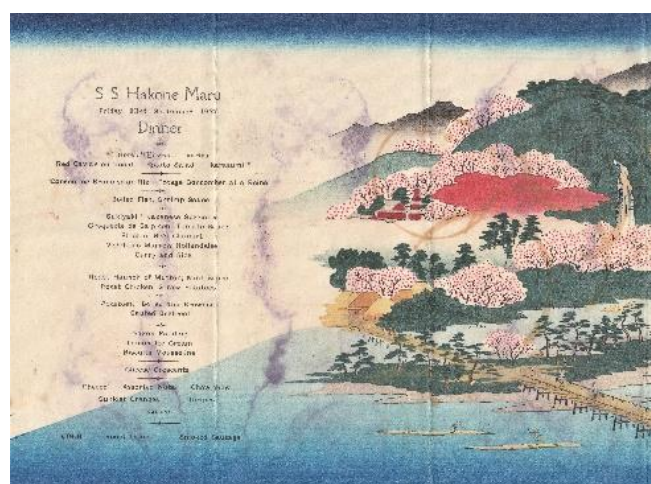
㊟＜8月28日 日光東照宮＞



㊟＜8月29日 歌舞伎「出雲の阿国」＞



㊟＜9月16日 端午の節句＞



㊟＜9月23日 船下り＞

旅行中の写真から

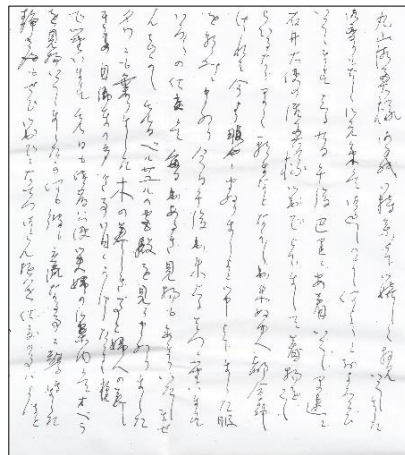


②①「阿波丸 船内やデッキでの夫妻の姿」



←「カイロ博物館前」

←②①「エジプト観光」



御変りもなく 御元氣にて御過しのよし何よりとおよろこびいたします 去る九日午後巴里に安着いたし早速石井大使の御奥様御出で下されました 着物をこしらえるなど早く頼まないとなかなか出来ぬや都合よろしければ今より服やにまゐりましようとお申し下されました 服を頼みにまゐり今日午後出来るはづに御座います。いろいろの支度にて毎日出歩き見物もあまりいたしません。しかし先日「ベルサイユ」の宮殿を見てまゐりました。タワーにも乗りました。木の美しき事と婦人の美しき事自動車の多き事は御目につけたき様で御座います

②②「ベルサイユ宮殿にて 写真・春子の書簡（息子齊夫妻宛）・訳（一部）6月15日付」



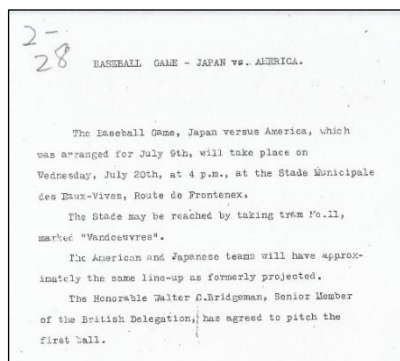
←②⑤「ミラノ プレラ美術館前」



←②⑤「ヴェネツィア サン・シメオン・ピッコロ教会前」



②⑥「ポンペイ遺跡」



イギリス全権が急遽帰国し、会議は一時中断されました。中断中に開催された日本対アメリカの親善野球試合では、アメリカ側からの提案により實が始球式を務めました。

⑭ 「日本対アメリカの親善野球試合の案内と記念写真」(7月20日)

その他のトランク



↑⑫ 革製のトランク → 持ち手のところに實のイニシャル有り「M・S」



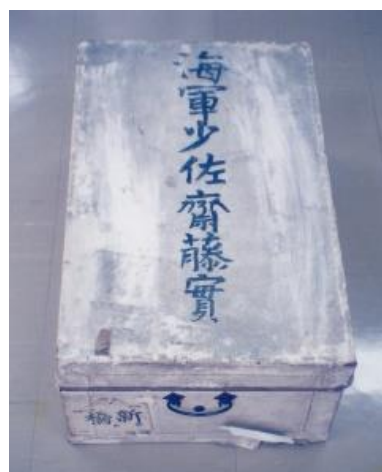
← ⑭ 高島屋で購入。アメリカ製
ワードローブケース(洋服用)



↑⑮ 「大礼服用の肩章・帽子の専用トランク」
トランクの中には、右のように肩章と帽子が型崩れしないように収められている



←⑰ 「第 986 号 海軍省」
海軍省から支給されたトランク



← ⑰ 「海軍少佐 齋藤 實」
明治 26 年(1891)頃の使用



← ⑨ 「M・Saito I.J.N.」(實・齋藤 大日本帝国海軍)

<展示資料一覧>

No.	資 料 名 (展示順)	備 考 (掲載ページ)
①	トランク (中) 「M・H・S」 2点	阿波丸にて使用 (P4)
②	新聞記事 (大阪毎日、大阪朝日、他)	「謝恩記念帖」より※
③	写真 (ジュネーブ海軍軍縮会議の様子、代表団)	(P2)
④	トランク 「M・H・S」	欧州渡航等で使用 (P2)
⑤	阿波丸運航表	
⑥	写真 (阿波丸)	提供「三菱重工業 (株)」 (P3)
⑦	トランク 2点	パリ製、ジュネーブ製 (P4)
⑧	書籍 (日本郵船株式会社五十年史)	昭和10年12月10日 発行
⑨	トランク (中)	箱根丸にて使用 (P4)
⑩	箱根丸運航表	
⑪	写真 (箱根丸)	提供「三菱重工業 (株)」 (P3)
⑫	トランク 「M・S」	(P7)
⑬	写真 (箱根丸船内での様子)	
⑭	トランク	ワードロープケース (P7)
⑮	写真 (斎藤實海軍大将正装姿) 2点	
⑯	トランク 2点	大礼服用 (P7)
⑰	トランク 2点	「海軍省」、「海軍少佐 斎藤實」 (P7)
⑱	写真 (軍艦) 2点	
⑲	トランク 「M・Saito I. J. N.」	「實 斎藤 大日本帝国海軍」 (P7)
⑳	写真 (阿波丸船内での様子)	(P6)
㉑	写真 (エジプト観光)	昭和2年6月2日 (P6)
㉒	ベルサイユ宮殿観光 (写真、春子書簡)	昭和2年6月15日付け (複製) (P6)
㉓	晩餐会 (写真、出席者名簿、献立表)	(複製)
㉔	親善野球試合 (写真、案内文)	(複製) (P7)
㉕	写真 (ロンドン・ミラノ・ヴェネツィア)	(P6)
㉖	ポンペイ遺跡観光 (写真、春子手書き葉書)	昭和2年8月21日付け (複製) (P6)
㉗	阿波丸 (往航) メニューカード 6点・席順表	朝食1、夕食5 (P5)
㉘	箱根丸 (復航) メニューカード 7点	夕食 (P5)
㉙	箱根丸船内コンサートプログラム 2点、写真	昭和2年9月4日 (P4)
㉚	箱根丸船内演芸会・演目、メニュー	昭和2年9月5日
㉛	トランク (大) 「M・S」	阿波丸にて使用 (1階正面) (P1)

※「謝恩記念帖」・・ 實が朝鮮の方から昭和3年に贈られた新聞記事のスクラップ帖